

VI 参考資料（あいさつ文例）

挨拶文（日本PTA全国協議会発行：PTAハンドブックより）

【挨拶のポイント】

PTA役員になると、挨拶をする場に出会うことになります。「いったいどう挨拶したらいいのか…」とはよく耳にする声ですが、どのようなシーンにおいても、挨拶は本人の個性や人柄が大きく反映されるもので、パターンやしきたりはありません。

ただし、壇上で真っ赤になって口こもってしまったり、逆に偉ぶった言動が好ましくないのは当然のことです。ここでは、挨拶の時に気を付けたい、ほんのちょっとしたマナーとコツをご紹介します。参考までに挨拶の例文を掲載します。

壇上での心構え

心構えといってもそれほどむずかしくはありません。PTAを代表して挨拶する時には多くの場合、大人数を前に行います。そこで一番迷うのが視線の位置でしょう。誰かひとりを見つめるわけにもいきませんし、中空をにらみつけているのも妙な話です。だからといって終始挨拶文を書いた紙を見て読み上げるだけでは、聞いている人も退屈してしまいます。

背筋を伸ばし、胸を張って、適度に視線を移しながら話すとよいでしょう。基本的には全体のやや後方に視線を置き、左、中央、右、と間を取りながら移動させていきます。

また、挨拶の際は聞き取りやすい声を心がけたいものです。ゆっくり、はっきりが原則です。壇上では、どうしても緊張してしまい、早口になりがちです。意識的に話すスピードを落とすように心がけましょう。

場の雰囲気にも気を配ります。とくに子どもは集中力を持続させるのがむずかしいため、挨拶の最中におしゃべりしてしまうこともあります。そのような時には、ちょっとユーモアのある話を交えて、子どもの注意を引き付けましょう。ときには、普段の会話のように、ラフな話し方をするのもいいかもしれません。

挨拶文の作り方

先にも述べた通り、挨拶は本人の個性や人柄が表れるものですので、模範文例をご紹介しますのはたいへんむずかしいことです。ここでご紹介する文例は、ひとつの例として、参考にしていただければと思います。それぞれの地域や学校の特徴、挨拶する役員本人の意見、考え方などを盛り込んだオリジナルティあふれる素晴らしい挨拶文を考えましょう。

ただし、語りかける相手には注意が必要です。PTA総会で全員を前に向かって話す場合と、小学校の入学式で児童を相手に話す場合とでは言葉の選び方も違ってきます。子どもに語りかける場合は、極力簡単で分かりやすい言葉を選ばなければなりません。6～12歳と、年齢差が大きい小学生全部を前にした挨拶は、なおさら気を使うところでしょう。PTA総会ともなれば、それなりのマナーにも気を配りたいところです。

また、事前に作成した文章を声に出して読んでおくことも大切です。練習にもなりますし、間の配分も分かります。後は会場の雰囲気を読み取って話すだけです。リラックスして臨みましょう。

●入学式（小学校向き）

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。今日の日をみなさんは指折り数えて楽しみに待っていたことと思います。みなさんのうれしそうで元気な姿を見ると、そのことがよく分かります。

みなさんは今日から小学校の1年生になりました。学校はお友達がたくさんいて、仲良く遊ぶことができる楽しいところです。

それから、先生からはいろいろなことをたくさん教わることができます。学校のことや遊ぶことで分からない時には、上級生のお兄さんやお姉さんが、きっと優しく教えてくれるでしょう。忘れ物をしないで、きまりを守って、毎日元気に学校に通ってください。

小学校はお勉強をするところです。まず先生のお話をしっかり聞きましょう。そして、自分のことは自分でするようにしましょう。

楽しい学校生活を送るために、みなさんにふたつのことをお願いしておきます。そのひとつは、毎日元気で学校に通えるようにするには、交通事故にあわないように気を付けることです。それから、病気やケガをしないことです。交通ルールを守り、お父さん、お母さん、先生のお話をよく聞いてがんばってください。

ふたつ目は、クラスの友達をはじめ、学校のお友達と仲良くしてください。今日のはじめて会った人もいるでしょう。お互いに仲良く親切にして、楽しく毎日を送りましょう。

意地悪をしたり、誰かをいじめたりすることは、たいへん悪いことです。ひとりぼっちで寂しそうにしている人がいたら声をかけ、仲間に入れてあげましょう。約束してください。そして約束を守る〇△小学校の立派な1年生になってください。

保護者のみなさまに一言申し上げます。本日はお子さまのご入学まことにおめでとうございませぬ。心からお喜び申し上げます。

いま学校の教育をめぐる新しい方向や考え方が議論されています。「生きる力」を育むために学校と保護者と地域が一緒になって考え、行動する教育へと転換されつつあります。

その実現のためには「学校・家庭・地域社会」の連携が必要になってまいります。私たち保護者には、子どもたちが安心して学び、生活していける環境を作っていく責任が課せられています。

また、私たちの周囲には、いじめや不登校などの問題が増え続けています。これらの課題を解決するために、保護者、つまりPTAと学校とが常に緊密な連絡を保って、子どもたちの健全育成を目指していかなければなりません。PTAはそのための地道な活動をするのが求められています。

子どもたちの健やかな成長を願い、PTAに対するご理解、ご協力をお願いして、ご入学お祝いの言葉とさせていただきます。

●入学式（中学校向き）

新入生のみなさん、中学校へのご入学おめでとうございます。みなさんは、6年間の小学校生活を終えて、今日晴れて中学生の仲間入りをされました。新たな決意を持って今日の日を迎えられたことと思います。

小学校のように、1人の担任の先生から教わるのと違って、中学校では教科・科目ごとに担当の先生から授業を受けることになります。必修科目ばかりではなく選択科目もあります。部活動や生徒会活動などの特別活動も、小学校以上に生徒の自主性が尊重されています。つまり、勉強も部活も含めて自分自身で考えた行動をし、自分で責任を取ることが求められているのです。

いま、中学生のいじめや登校拒否・不登校が社会的な問題になっています。どうか友達と仲良く、楽しい中学校生活を築いていってください。お互いひとりひとりが違った性格を持っていること、ひとりひとり何か優れた特徴を持っていることに気づき、違いを認め合い、尊重し合うならば、いじめなどは決して起こらないことと信じています。また、中学校は小学校より校区が広く通学路が遠くなった人が多いと思います。どうか交通ルールを守って、交通事故にあわないよう、病気やケガをしないように注意してください。今日の感激と新たな決意を胸に努力し、3年後にはみんな健康で、希望どおりの進路に進めるよう、入学にあたって心から希望します。ここで保護者のみなさまに一言お祝いを申し上げます。まず、お子さまのご進学、まことにおめでとうございます。みなさまご存じのように、いま学校教育のあり方が大きな社会的関心事になっています。「生きる力」を育むために学校と保護者と地域が一緒になって考え、行動する教育へと転換されつつあります。

「生きる力」とは、子どもが自分で課題を見つけ、自分で考え、自分で問題を解決できる資質や能力を育成することだといわれています。そのためには、教科書や参考書に書かれたことを暗記する勉強から、自分で考えたり、体験したりすることが重要になってまいります。ここで私たち大人が、教育に対する意識を転換し、社会の要請を理解して子どもの教育にあたっていかなければなりません。

また、同時に家庭・地域社会と学校とが連携していくこと、家庭の教育力を高めていくことが求められています。子どもの教育にあたって家庭が、保護者が何をしなければならないか、お子さまの進学に際してじっくりとお考えいただきたいと思います。

そして、保護者と先生とが協力し合って子どもの教育環境を整えていくために、PTAがますますしっかりと活動しなければなりません。時代の変革の大きなうねりの中で、子どもたちの健やかな成長を願い、PTAに対するご理解、ご協力をお願いして、入学式の祝辞とさせていただきます。

●運動会

みなさんが待ちに待った運動会の日がやってきました。今日は本当にいい天気恵まれ、大勢のお父さんお母さん、家族のみなさん、そして地域のみなさまのご参加を得られたことをうれしく思います。みなさんは、日頃の体育の授業や部活動での鍛錬の成果を発揮して、力いっぱいがんばってください。また、「運動競技は人生の縮図である」ともいわれています。自分の持っている運動能力をフルに発揮するかどうかが大変なことで、ほかの人と争うことよりも自分とのたたかいに打ち勝ち、自分の力を出し切ることが大事なことです。

「オリンピックは勝つことより参加することに意義がある」といわれていますが、ただ参加すればいいというわけではありません。参加して、全力を出し切って競技することに意義があるのだと思います。順位や成績は、その結果として表れてくるものです。同時に、ひとりひとりの競技だというだけでなく、クラスや学年、同じ地域などのチームワークにも心がけてください。最後に、保護者を代表して校長先生をはじめ諸先生方のこれまでのご指導と、地域のみなさま、PTA会員のみなさんのご支援に心から感謝申し上げます。

●文化祭

菊の花が咲く秋のよい日に文化祭が開かれ、みなさんが日頃学んできた成果をたくさん発表して下さることに、心からお祝いを申し上げます。

文化祭で普段学んだ文化芸術活動の一端を発表し、家族や地域の人々に見ていただくことはたいへん意義深いことです。それとともに、今日に至るまでの計画、準備、運営などの活動に努力し、開催を迎えられたことに敬意を表したいと思います。

いまは国際化時代といわれ、「国際理解教育」の必要性が強調されています。国際理解とは自分たちとは違った文化があることを理解し、お互いの文化を尊重し合うことから始まります。自分たちと違う文化を理解するには、その前に自分たちの、言い換えれば日本の文化をよく知り、日本の文化を大切にす気持ちを持たなければなりません。

このように「文化」についてのしっかりした考えを持って、文化祭を意義あるものにしたいものです。それには全員参加の文化祭「みんなで創り、みんなで観る」文化祭にすることが大切です。みんなで作った舞台や展示を、静かに聞き、最後まで見ることで、全員参加の文化祭にしてください。

最後になりましたが、子どもたちを励ましてくださった来賓のみなさま、手塩にかけて指導してくださった先生方に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

●卒業式（小学校向き）

卒業生のみなさんご卒業おめでとうございます。6年間よくがんばりました。その結果立派に成長して、今日の日を迎えることができました。お祝い申し上げます。

みなさんがここまで成長することができたのは、みなさんの努力の賜物であることはいまでもありませんが、ときには優しく、ときには厳しく指導してくださった先生方と、ご両親をはじめ周囲の方々のあたたかい愛情とご指導のおかげであることを忘れてはなりません。いつまでも感謝の気持ちを持ち続けてほしいと思います。さて、みなさんは6年間、楽しかったこと、つらかったことなどさまざまなことが思い出されるのではないのでしょうか。あの経験、あの思い出をこれからの中学校生活に生かしてほしいと思います。中学校に入ると、小学校と違って勉強の時間は科目ごとに先生が代わります。どんな生活が待っているのか、期待と不安でいっぱいかもしれませんが、中学校では先生も、上級生も、みなさんを温かく迎えてくれるでしょう。希望と期待を胸に中学校に進んでください。中学生になるのをきっかけに読書の習慣を身につけましょう。先人たちが残した本を読むことで、教養を蓄えることができます。

健康に気を付けて、悔いのない中学校生活を送ってください。

最後になりましたが、保護者のみなさま、お子様のご卒業おめでとうございます。心身ともに健全な中学生に成長されますようお祈り申し上げますとともに、中学校でもPTA活動に積極的に参加してくださることをお願いしてご挨拶いたします。

●卒業式（中学校向き）

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。いま校長先生から卒業証書をいただいて、改めて卒業したのだ、という感慨に浸っていることと思います。

みなさんは小学校の6年間と中学校の3年間合わせて9年間にわたる義務教育を終えることになりました。これからどんな道を選ぶにしても、この3年間友情を深めた友達、お世話になった先生方、ともに生活したこの学舎など、すべてに対して感謝の気持ちを持ってほしいと思います。

そして、中学校で学んだことをもとに、社会人として高校生として恥ずかしくない生き方をしていってください。何事も自分で考え、自分で行動する道を決められる人になってくださることを心から期待し、祈っています。

校長先生はじめ先生方に申し上げます。心身ともに不安定な、むずかしい子どもたちに、学習の面で、あるいは生活指導の面で、きめ細かなご指導をいただきました。厚くお礼申し上げます。

最後になりましたが、ご家族のみなさん、今日のご卒業を心からお祝い申し上げます。この3年間は心身両面で何かとご心配があったことと推察いたします。しかし、義務教育を終えることができ、これからはお子さんたちが自分で生きる力をつけ、生きる道を模索していってくれることと思います。これからも、お子さんの進む道を見守り、励ましてくださることを期待して、お祝いの言葉に代えさせていただきます。

●教職員退任式

今度〇〇先生が、〇×学校にご栄転が決まり、お別れすることになりました。先生の退任式にあたりPTAを代表して一言ご挨拶させていただきます。

〇〇先生は、〇年前に本校に赴任され、今日まで学校で子どもたちの指導にご尽力くださったばかりでなく、地域の教育力の向上のために尽くしてくださいました。赴任されてすぐ、一日も早く地域の実情を理解しようと気軽に私たちのところへ出向いてこられ、子どもたちの様子を見守っておられたことを思い出します。

また、学校とPTAのパイプ役として家庭や地域の問題に対して積極的に対応していただきました。「開かれた学校」の実現と、地域の連携に大きな貢献をしてくださいました。ここにお集まりのみなさまや、保護者のみなさんとともに心から先生にお礼申し上げます。

新しい任地におきましても、長年培われた教育力と愛情あふれるお人柄で、ますます教育のためにご尽力くださることを祈念いたしたいと存じます。

最後になりましたが、どうかくれぐれも健康にご留意され、ご活躍くださいますようお願いしてお別れの言葉いたします。ありがとうございました。

●〇〇周年記念

△△小学校創立〇〇周年の記念行事にあたり、PTAを代表して一言お祝いを申し上げます。

本校は終戦後の新しい教育制度のスタートと時期を同じくして創立され、以来〇〇年、激動の中さまざまな変化を経ながら今日の記念日を迎えることができました。誠にめでたいことでもあります。

戦後の物のない時期に産声をあげた本校は、校舎や設備の整備が児童の人数の増加に追いつかず、二部授業や青空教室で急場をしのいだこともありました。児童の自主的な問題解決学習を中心に教育が行われたこともありました。

これまで本校で教えてくださった先生方、ここから巣立っていった卒業生たちのたいへんな努力、苦労が結実して今日の本校があるのだと思います。改めて先人たちの功績に感謝し、本校の歴史の教訓を噛みしめたいと存じます。

これからは未来に向けて、新しい教育の方向を目指していかなければなりません。新しい学力観に基づく教育、「生きる力」を育む教育など、いろいろな表現がありますが、子どもたちに自ら学ぶ意欲、自分で考える力、そして社会の変化に主体的に対応できる能力を育てることが教育の目的だと考えます。本校もこうした教育の実現のため努力されることと思いますが、私たちPTAとしても、先生方をバックアップして目的の遂行に少しでもお役に立つことができればと思っています。PTAとしての決意を申し上げ、〇〇周年のお祝いの言葉といたします。

●PTA会長就任式

このたび△△学校のPTA会長を仰せつかりましたXXでございます。若輩者ですが、たつてのお話でございますので、非才を省みずお引き受けいたしました。お受けした上はみなさまの総意を背に受けて、全力を尽くす覚悟でございます。どうかPTA会員のみなさま方のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

PTAは会員の、会員による、会員とその子どものための団体です。ほかのどのような団体や個人からも支配や干渉を受けずに、自主独立を守ることが基本方針でなければなりません。自主独立は、会員のみなさまの自覚と協力が前提であると思っています。

PTA活動の際よく出る言葉は「忙しい」「今年は〇〇なのでできない」などです。家庭の中で子どもをキャンバスにきれいに描こうとしても、バックの色、コントラスト、全体の構成ができない限り完成しないでしょう。それは自分の子どもだけを見つめていては家庭教育ができないことを意味します。PTA活動は子どもの像を私たちの心に浮き彫りにしてくれるものだと考えます。その意味でもPTA活動への積極的な参加をお願いいたします。

PTAの活性化は会員のみなさまのご意見を聞き、これをPTA活動に反映することであり、そのままPTAの健全な発展に役立つものです。そのためには、学校行事やPTA活動を通じて学校に足を運んでいただくことが必要です。会員のみなさまのご理解、ご協力を重ねてお願いいたしまして、会長就任のご挨拶とさせていただきます。

●講演会謝辞

△○先生ありがとうございました。P T Aを代表して一言お礼の言葉を述べさせていただきます。

はじめに、ご多忙の中を私たちのためにご講演くださいましたことに、心からお礼を申し上げます。日頃、私たち保護者は子どもの教育を学校に依存するばかりで、よい成績をとか、よい学校に進学させたいとか、学歴偏重になっているのではないかと反省しております。そんな中で、子どもの教育についての役割、責任分担にかかわる具体的な実践へのご提案をいただきました。今日の先生のお話を、子どもの教育の参考にさせていただき、教訓を生かしてまいりたいと思っております。

ご講演いただいた後、主催者がお話の内容をまとめて、お礼申し上げます例が多いと聞いておりますが、私はあえてまとめないでおきたいと思えます。せっかくの△○先生のお話を、私たちひとりひとりがそれぞれ受けとめたわけですから、私個人の解釈を申しあげてその妨げになってはならない、と考えるからです。終わりに△○先生のますますのご活躍を祈念してお礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。

●表彰式受賞者代表謝辞

受賞者を代表して、一言お礼を申し上げます。本日、はからずも△○大会において表彰を受けました私たち受賞者一同、感謝の気持ちでいっぱいでございます。

省みますと、私はこれまでのP T A活動で特別際立った活動をしてきたというわけではありません。ただ長い間、P T A活動にかかわらせていただき、その間に単位P T Aで、またO O P T A連合会で、家庭教育力向上の支援や青少年の健全育成について、学校と家庭・地域社会の架け橋となるべく努めてきたつもりであります。それが評価されて、本日の光栄に浴することができたとすれば、望外の喜びでございます。とはいいましても、本日のこの表彰は私個人に与えられたものではなく、ともに歩み、ともに活動が続けてきた会員全体に与えられるものであり、その代表としてこの場にいるのだと思っております。以上、粗辞ではございますが、このような表彰の機会を賜りました主催者をはじめ会員のみなさま方に、受賞者を代表して厚くお礼を申し上げ、感謝の言葉に代えさせていただきます。本日はありがとうございました。

●役員退任

私は本日任期が満了して、本校P T A会長を退任することになりました。平成△年にみなさまのご推挙によって会長に就任して以来○年間、大任を務めることができましたのも、保護者のみなさんをはじめ、先生方、歴代役員の方々から温かいご支援、ご厚情をいただいた賜物と厚くお礼申し上げます。省みますと、その時その時の課題にみなさまとともに真剣に取り組んでまいりました。退任するにあたり、「日暮れて道還し」の感がしておりますが、子どもたちの幸せのためにP T Aのあり方を考えながら、着実に歩んできた道であります。微力ながら精一杯努めたP T A活動であり、悔いはありません。いま、学校教育はいじめや不登校の問題、ネットトラブルなど深刻な問題を抱えています。これらの問題解決のため、学校と家庭・地域社会の連携がきわめて重要になっています。P T A活動や家庭教育の役割はますます大きくなっているのです。

このような中で、新会長に〇〇氏が就任されることになりました。〇〇氏はPTA活動にきわめて積極的であり、かつ幅広い知識と見識をお持ちの方です。私が在任中に成しえなかった幾多の課題も、解決していただけると大いに期待しております。△〇中学校や△OPTAの活動に対する評価は、まさに会員みなさんひとりひとりの問題でもあります。私同様、新会長〇〇氏を助け一致協力して本会発展のためお力添えくださるようお願いいたします。最後に、△〇中学校と△OPTAのますますの発展とみなさまのご健勝を心から祈念して退任の言葉とさせていただきます。

大分県PTA綱領

本会は、教育を主旨とする民主団体であり、不偏不党、自主独立の性格を堅持し、PTAの健全な発達を推進して、青少年の幸福な成長を図ることを目的とする。

大分県PTA連合会

〒870-0951

大分市大字下郡496-38 大分県教育会館2階

TEL：097-556-9055

FAX：097-556-9155

ホームページアドレス (<http://www.oita-pta.com/>)